

地域がより主体的に公共交通を維持・充実する取組の推進

【担当省庁】 国土交通省

県内公共交通の維持・充実に向けた取組

- 奈良県では、「奈良県公共交通基本計画」(H28策定、R4改定)に基づき、地域公共交通の維持・充実に向けた取組に積極的に参画。
- 改定計画では、以下の4つを政策の柱として位置付け、**市町村、交通事業者、住民等の関係者が連携・協働し、地域に最適な交通体系づくり**を目指す。



<具体の取組事例>

県内公共交通の維持・充実に向けた取組

- 県内幹線バス路線毎に、「利用者数」、「平均乗車密度」、「最大乗車人員」、「収支率」、「利用者1人あたり行政負担」の客観指標を用いた「**バスカルテ**」を作成、『診断』。
- 地域の関係者間で改善策を議論・実践し、定期的に検証。
- これら路線に対し、国のサバイバル補助を頂しつつ、県・市町村でも支援を実施。
 - ▶県の運行費補助額(令和4年度運行分: 2億円強)



公共交通に関わる空間の質向上

- 鉄道駅への**エレベーター設置工事**等や、**ノンステップバス**の導入等、**バリアフリー化**を推進。
 - ▶県内対象駅の段差解消率82.8% ノンステップバス導入率74.7% (令和4年度末)



公共交通分野における環境負荷の低減

- 脱炭素社会に向けた取組の一環として、**県内バス路線のEVバス導入**を推進。
 - ▶EVバス車両2台の導入を支援(令和4年度)



時代の変革に対応した公共交通の構築に向けた取組

- 昨年度、**自動運転等を活用した新しい交通サービス**実現に向けた**検討**を、**県内5エリアで開始**。(明日香村、三郷町、宇陀市、五條市、田原本町)
- 単に既存のコミュニティバス等を自動運転車両で置き換えるのではなく、**観光・文化 × 地域公共交通 医療・福祉 × 地域公共交通**等、
 - ▶ 地域が直面する、他分野にわたる課題を一体的に解決
 - ▶ 地域の力を伸ばすための公共交通サービス提供を目指す
- また、昨年度、3市村(奈良市、生駒市、黒滝村)を対象にクロスセクター効果の試算を実施。今年度にクロスセクター効果算出ツールを作成予定。

【明日香村】

- ・鉄道駅と**観光・文化施設**を結ぶ自動運転車両の実証走行(R5冬)
- ・観光振興に向けて先端技術と連携(例)キャッシュレス決済、**ワンストップ型観光アプリ(観光版MaaS)**



奈良デジタル戦略(R4.3月策定)の代表プロジェクトの一つとして実施

【宇陀市】

- ・住宅街と市街中心部(病院・スーパー等)を周回する自動運転車両の実証走行(R5秋)
- ・**診療予約とバス予約の一体運用**や、**見守りサービスとの連携**



国にお願いすること

- ・持続可能な県内公共交通体系の確立を図る本県の取組に対し、**地域公共交通確保維持改善事業等**による**引き続きのご支援**をお願いしたい。
- ・様々な政策分野と連携した公共交通サービスの充実に向け、**デジタル技術も活用した先進的な取組**に、**格段のご支援・ご協力**をいただきたい。

【県担当部局】 県土マネジメント部 リニア推進・地域交通対策課